

09. 3. 20

十日町飛来 トキ記録

観察指導員南雲さんら一冊に

たくましい姿写真で紹介

佐渡で放鳥され、その後、十日町市北部に飛来した個体番号三番の雌のトキの観察記録集がこのほど、出版された。「絶滅したトキが今また帰っ

てきた、その感謝を伝える。三番の雌のトキは二月八日に同市北部の水田地帯に飛来、二十八日まで約三週間いた。その後、上越市を経て長野県へ移

動したが、三月八日には十日町市の水田に再び飛来。その後、北上した。南雲さんはトキが飛来して以来、仕事の傍ら、ほぼ毎日トキのいる水田へと通い、観察を続けてきた。

記録集では二月の十日町滞在時のトキの様子を収録した。吹雪の中、舞ったり、ドショウをつい

ばんだりする姿、カラスと仲良く餌を探している場面などを載せた。南雲さんは「雪が降る十日町でもたくましく過ごしたトキの姿を多くの人に見てほしい」と話している。

記録集はA5判、十八ページ。一部千二百円。問い合わせはみらい印刷、025(752)0350。



十日町市に飛来したトキの記録集